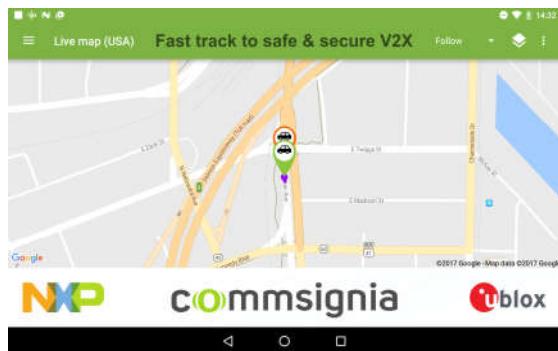


ユーブロックス、Commsignia、NXP の 2 社と協同で V2X を推進

V2X のリーディング・カンパニー 3 社、自動車メーカー向け V2V 技術の安全性とセキュリティを向上し市場投入期間の短縮を実現するコラボレーションを発表



2017 年 5 月 24 日、スイス、タルヴィルおよびサンタクララ、米国 – u-blox AG（日本法人：ユーブロックスジャパン株式会社、東京港区、代表 仲 哲周）、Commsignia Inc および NXP Semiconductors の V2X リーディング・カンパニー 3 社は、本日、信頼性の高い車車間（V2V）および路車間（V2I）技術への急速な需要増に対応するための戦略的コラボレーションを発表しました。

北米や欧州市場では、V2X 技術の採用が進み、半径 1Km 以内の他車両、インフラストラクチャ、および歩行者と匿名でセキュアに情報を共有する機能が新型車両に搭載されています。IEEE 802.11p V2X 技術は、現時点で、曲がり角の先を確実に見通すことのできる、唯一の実証済みで量産可能な技術です。V2X 情報は、安全性の向上、渋滞緩和と CO₂ 排出量削減に対するドライバーの意識を高めることにより、現在はすべての道路利用者に、また、将来は自動運転にも実質的な節約とメリットを提供するものです。

今回のコラボレーションは、3 社の強みを活かし、投資を最適化しリスクを軽減する将来を見据えたソリューションにより、自動車業界の顧客に大幅な市場投入期間の短縮とメリットをもたらします。自動車メーカーは、今後 5 年以内に新車で 100% の導入率を達成するため、現在、V2X を市場に投入するための方法を探しています。今回のマーケット・リーダー 3 社のコラボレーションは、完全装備の安全な（US DOT SCMS 準拠）V2X システムの完全統合型ハードウェア/ソフトウェア・ソリューションの提供により、V2X 技術の採用を加速していきます。

ユーブロックスの製品戦略近距離無線部門ディレクター Costas Meimetis は次のように語っています。「このコラボレーションは、当社の V2X 通信モジュールのように量産可能な車車間（V2V）および路車間（V2I）システムを提供することに焦点を当てています。当社はすでに THEO モジュール・ファミリーで市場に参入していますが、今回のコラボレーションは、当社のマーケット・ポジションを強化して技術革新を推進し、新興市場に新たなソリューションを提供することになります。当社の専門知識と 3 社のコラボレーションは、主要市場の新しい法律を守らなくてはならない自動車メーカーの需要増に応えられる位置に私たちが立っていることを意味しています。」

「NXP が専用狭域通信（DSRC）V2X 技術のテクノロジー・リーダーであることから、ユーブロックスは NXP の RoadLINK ソリューションを選択しました。これは、+105°Cまでの周囲温度に対応する Automotive Grade 2 の完全な V2X システム・ソリューションであり、クラス最高性能でユーブロックスの V2X モジュールに電源を供給します」と V2X 部門の Rob Hoeben シニア・ディレクターは語っています。V2X は、最小の遅延でリアルタイムに動作して曲がり角の先を見通し、自動運転の実現を支援する、唯一の ADAS 技術です。IEEE 802.11p に基づく V2X は 5G バージョンの V2X を補足するものであり、当分の間は両技術が共存するものと予想されます。NXP 社は、トラックの短車間距離隊列走行など、V2X のデモと試験のいくつかに参加しています。北米の大手 OEM で製造されている NXP 社の RoadLINK ソリューションは、ユーブロックスのモジュールが精度と信頼性の高い車両との通信を確実に提供するために有効です。

Commsignia 社の Jozsef Kovacs CEO は次のように語っています。「Commsignia は、車とスマートシティのインフラストラクチャを接続する最高のエンドツーエンド V2X ソフトウェア・スイートで市場をリードしています。NXP RoadLINK チップセットとユーブロックスのモジュールと組み合わせることで、自動車メーカーは安全で完全統合型ソリューションのメリットを活かして新車設計に V2X 技術を実装し、道路の安全性と効率性の向上に向けた次のステップを踏み出すことができます。」

ユーブロックス、Commsignia、NXPの3社は、[2017年6月7~8日のTU-Automotive Detroit Conference and Expo](#)にて、3社のコラボレーションによる命を守るV2Vアプリケーションの実現について、ライブ・デモを実施する予定です。この「Fast track to safe & secure V2X」と題されたデモでは、以下の使用例を紹介します。

- 後側方車両検知警報 (BSW)
- 緊急電子ブレーキ灯 (EEBL)
- 協調型前方衝突警告 (FCW)
- 車線変更支援 (LCA)
- 右左折支援 (LRTA)
- 制御不能車両警告 (CLW)
- 交差点運転支援 (IMA)

詳細は、<https://youtu.be/fyGDrtVbUOY>をご覧ください。

最新情報は Twitter: @Commsignia @NXP @ublox #FastTrack2V2X #SafeSecureV2X #TUDetroit でもご覧いただけます。

ユーブロックスについて

スイスのユーブロックス社 (SIX:UBXN) は、民生、産業および自動車市場向けにワイヤレスと測位用半導体を提供するグローバルリーダーです。ユーブロックスのソリューションにより、人、自動車や機械等がそれぞれの位置を正確に決定し、さらにセルラーおよび近距離ネットワークでワイヤレス通信を行うことができます。ユーブロックスはチップ、モジュール、ソフトウェアの各ソリューションを多種用意して独自の地位を占め、OEM メーカーの皆様が IoT の革新的なソリューションを迅速かつ廉価に開発するためのお手伝いをしています。ユーブロックスはスイスのタルヴィルに本社を置き、世界の各地、特に欧州、アジア、米国に多くのオフィスを構えています。詳細については www.u-blox.com/ja/ をご覧ください。

最新情報は、[Facebook](#)、[Google+](#)、[LinkedIn](#)、Twitter [@ublox](#)、[YouTube](#) でもご覧いただけます。

<お問い合わせ先>

ユーブロックスジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-8-6 赤坂余湖ビル 6 階

カントリー・マネージャー

仲 哲周

電話 : 03-5775-3850

e-mail: tesshu.naka@u-blox.com

NXP 社について

NXP Semiconductors N.V.(NASDAQ: NXPI) は、スマートワールドのためのセキュアな接続とインフラストラクチャを実現し、生活を快適・安全にするためのソリューションを前進させています。組込みアプリケーション用のセキュアな接続ソリューションの世界的リーダーとして、NXP はセキュアなコネクテッドカー、エンドツーエンドのセキュリティ&プライバシー、スマート・コネクテッド・ソリューションの市場でイノベーションを推進しています。60 年以上にわたる実績と専門知識を有する NXP は、35 か国以上に 44,000 名の従業員を擁し、2015 年には 61 億ドルの収益をあげています。詳細については www.nxp.com をご覧ください。

NXP社お問い合わせ先:

Jason Deal, Global Media Relations, NXP

Phone: +44 7715228414

e-mail: Jason.Deal@nxp.com

Commsignia 社について

Commsignia (www.commsignia.com) は、最先端の技術と市場のニーズに応じた製品ポートフォリオを提供している、最もダイナミックな V2X 企業です。Commsignia は、次世代の自律走行車とスマート・モビリティのエコシステムを構築する IEEE 802.11p および Cellular V2X に準拠したコネクテッドカー/V2X 向けの「路上安全性向上」ソフトウェア/ハードウェア製品を専門とし、安全運転および渋滞緩和と CO2 排出量削減を推進しています。シリコンバレーに本拠地、communicate, accelerate

社を置き欧州にも拠点を構える Commsignia は、コネクテッドカーおよびスマートシティ向けに、クラス最高の V2X (Car2X) 通信ソフトウェア、堅牢な PKI/SCMS セキュリティを搭載した V2X/ADAS ハイブリッド・アプリケーション、V2X SDK、車載ユニット (OBU)、路上ユニット (RSU) を供給しています。

Commsignia社お問い合わせ先:

Nicolas Richter, VP Marketing, Commsignia
Cell US: +1 650 614 1771
Tel EU: +41 79 820 50 79
e-mail: nicolas.richter@commsignia.com